

斎藤いくま全学連前委員長が7日、京都大学で昨年7月に授業開始前の教室にビラを置いたことを以って、京都府警に「建造物侵入」で逮捕されました。自治寮廃止や立て看板規制を学生の意見も聞かず暴力的に推し進める京都大学山極寿一総長体制と一体の、極めて政治的な逮捕であり、即時釈放されるべきです！

警察の横暴・政治逮捕許せない！

大学でのビラ配布が

犯罪か!?

警察と一体で自由を奪う京大当局、恥を知れ！



斎藤いくまを返せ!

Web : zengakuren.jp
Mail : mail@zengakuren.jp
Twitter : [@Zengakuren](https://twitter.com/Zengakuren)

全学連

抗議電話の集中を

075-753-2505

(京都大学 教育推進・学生支援部 学生課 総務掛)

「学生課長に話がある」旨を伝えて、抗議の意思を伝えてください。

全学連前委員長の齋藤郁真さんが5月7日深夜、京都府警に「建造物侵入」の容疑で不当逮捕されました。容疑は、「昨年7月12日に京都大学構内に侵入した」というものです。京大では当時、全学自治会同学会がその中執予備選挙を実施中であり、齋藤さんら有志は、ピラマキなどの手伝いを行っていました。これを犯罪に仕立て上げようとする警察および警察と結託した京大当局のあり方は、全学連として到底容認できません。

今回の逮捕の本質は第一に、京大学生運動の全国的波及を恐れた政治弾圧です。京大当局は本格的な立て看板の規制や自治寮の廃寮攻撃に踏み出し、抗議する学生には処分や警察導入を繰り返してきました。しかし、京大生の運動は、いまや大学の自由を求め、「国策」に奉仕するものへと墮落した大学を変革せんと志す全国学生を鼓舞しています。今回の不当逮捕は、学生運動の再興に恐怖し、その中心地、京大学生運動の圧殺を狙うという極めて政治的意図を含有する不当弾圧に他なりません。第二に、京大での机上ピラ配布を「建造物侵入」とされて現在裁判中の3学生不当逮捕・起訴と完全に一体のものであります。警察、京大当局は昨年11月、授業時間外の教室にピラを置くという自由な言論活動、大学にとって必要不可欠な行為を「建造物侵入」として犯罪に仕立て上げました。今回の齋藤さんの逮捕もまた、ピラマキすら犯罪とする一連の政治弾圧の一環にあります。

今回の逮捕で核心的に問われていることは、学問・大学のあり方です。京大当局は17年、齋藤さんを含む十数名の学生を名指しにして「立入禁止」と宣言する「京都大学」名義の張り紙を学内に掲示しました。この「立入禁止」なる張り紙の目的は、秘密裡の軍事研究や学生の不当処分など京大当局の不正・腐敗が続々と発覚する中で、京大当局にとって都合の悪い人物、京大当局を批判する人物は学内への立ち入りすらも禁止し、京大生と全国学生・労働者・市民との運動が結合して共に京大当局を包囲することを何としても阻止することにありました。しかし、このような大学・学問のあり方は学生の決起で変革できません。学生が一層団結して立ち上がれば、不当処分や不当逮捕を跳ね返して、より大きな勝利を実現することが可能です。学生が立ち上がれば大学が変わる、労働者・学生を先頭に民衆が立ち上がれば社会が変わる——歴史はそのことを証明しています。

最後に、警察権力は昨年11月のピラマキ「建造物侵入」逮捕に続いて、起訴—長期勾留を前提に不当逮捕に踏み切っています。全学連に対して救援カンパの集中をお願いします。

※全文は全学連公式ウェブサイトに掲載

支援を

救援費用のカンパをお願いします！

警察権力の横暴（不当な政治的逮捕）と対決するためには、弁護士費用を筆頭に多額の資金が必要となります。相手は国家・警察であり、全学連にとっては労働者・市民のご支援のみが頼りです。

★郵便振替

「00190-0-766112 全日本学生自治会総連合」